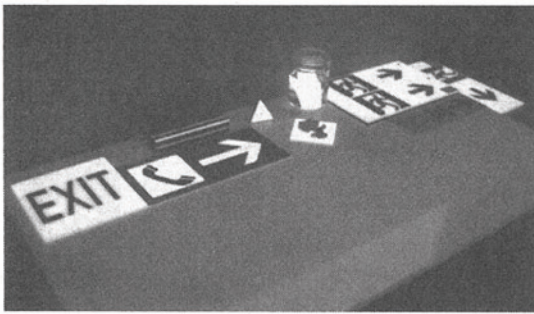


# 防滑・蓄光の新素材「アベイラス」

## 「環境と福祉」両立へ



各種誘導板類(上=消灯状態で撮影)と、「飛鳥Ⅱ」の浴場での使用例

アベイラス(東京都千代田区、03・3265・3414)が開発した、滑りを防ぎ蓄光もできる新素材「アベイラス」が注目を集めている。電気を使わない避難誘導板として二〇〇六年度省エネ大賞の省エネルギーセンター会長賞を受賞したほか、優れた防滑性能を発揮する床材としても高く評価され、建材では唯一、テクニード協会の福祉用具として登録。介護保険の給付金対象製品となっている。「環境と福祉」の両立を実現する素材としての期待が高まっている。

### 石英を骨材で高硬度を実現

「研究開発や実用化を続けてきたが、ここに至るまで、その成果が実を結び始めた」と、酒

こうした建材としての基本性能の上に、多くの機能を付加したものだ。「施工後約一〇年経過しているものもあるが、まだ一件も駄目になったものはない」と、村田知隆(企業営業担当部長も胸を張る。

天然の石英石を基本骨材として使用し、メチルメタクリレート樹脂とを配合、成形した。硬く割れにくい一方で、可

### 転倒事故の防止にも一役

また転倒・転落事故の防止にも役立っている。現在、それが原因で亡くなる人は年間六〇〇人以上で

プールサイド、トイレ、厨房といった濡れて滑りやすくなる場所での事故防止に貢献すべく、広がりを見せている。トイレなどに使用すれば、汚水が浸透しないことでお

## 省エネ 受賞 介護給付金対象にも

井三枝子代表取締役は振り返る。

同社は元来、高硬度の石英成形板として「アベイラス」を開発していた。これは、表面硬度が鉄の約四倍と極めて高く、耐

衝撃性に優れた建材として開発された。酸やアルカリなどにも優れにくく、吸水性もほとんどない。

### 避難誘導板として認定基準に合格

こうした特性を生かして、避難誘導板などの蓄光製品として実用化を進

性能にも優れていることから、ミリ単位での切削などといった細かい加工もできるようにしている。

ずか八〇分の一となる。水銀やカドミウム、PCBといった有害物質を全く含まないことも含めて、総合的な環境配慮を実現できる。

あり、高齢化の進行とともに、高年齢化の進行とともに、交通事故の死者数を将来上回る可能性も指摘されている。また、滑って転倒した事故を巡り訴訟に発展するなどのケースも増えている。

この蓄光製品「アベイラス・アルシオール」は、アベイラスの防滑性能を、こうした対策としても活用しようという取り組みだ。

現在、鉄道や公共施設各種ビルの誘導板などに幅広く採用されている。日本消防設備安全センタ

浴室や階段、スロープ、プールサイド、トイレ、厨房といった濡れて滑りやすくなる場所での事故防止に貢献すべく、広がりを見せている。トイレなどに使用すれば、汚水が浸透しないことでお

このため明るい色を採用することが可能となり、トイレの印象を明るく変えるといった二次的な効果も生まれている。こうした特徴を生かした象徴的な施行例が、豪華客船「飛鳥Ⅱ」の展望台浴場だ。床面に使用されたところ、揺れる船内での浴場という滑りやすい場所にもかかわらず、転倒事故が大幅に減少。吸水性がほとんどないことから、カビや藻の発生も抑えられる。更に、船のゆがみに追従できる柔軟性により、亀裂などの発生を抑える効果も生まれている。